

動物実験に関する検証結果報告書

城西大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

平成30年3月

平成 30 年 3 月 19 日

城西大学

学長 白幡 晶 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会

理事長 浦野 徹



対象機関：城西大学

申請年月日：平成 29 年 6 月 26 日

訪問調査年月日：平成 29 年 12 月 4 日

調査員：國田 智 (自治医科大学)

浦野 徹 (自然科学研究機構 生理学研究所)

検証の総評

城西大学は、薬学部、理学部、経済学部、現代政策学部、経営学部の 5 学部からなる総合大学であり、このうち坂戸キャンパスにある薬学部の 3 学科 (薬学科・薬科学科、医療栄養学科) において、研究や学生実習のために動物実験が実施されている。理学部でも動物実験の実施予定があり、検証時にはその準備が進められていた。

学長が委員長を務める全学動物実験管理委員会の統括下で、動物実験管理委員会、動物実験委員会、動物実験広報委員会、動物実験管理自己点検評価委員会が設置され、副学長、研究科長ら大学幹部と多数の教員が動物実験を適正に実施するための委員会活動に関与している。役割別に整備された各委員会は適切に機能しており、委員会での審議内容も詳細に記録保存されている。特に、自己点検評価と広報に関する委員会を独立して設置することで自己点検・評価結果の改善への反映や情報公開の促進を図る取り組み、ならびに複数の外部委員が参画する動物実験計画等の審査体制は高く評価できる。また、飼養保管施設の整備と維持管理も計画的に行われている。一方、生命科学センター以外での飼養保管の責任体制や緊急時対応については改善の余地が認められ、危機管理の観点から一層の充実を図りたい。